

BUDOU
心

- Alumnae association bulletin - 2022



2021年 巣立ちの春

看護大学卒業式
3月5日

「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である」(ヨハネ15:5)

高等学校卒業式
3月2日



雨上がりの日差しがキラキラと降り注ぐ中「徳永徹記念多目的ホール」にて卒業式が挙行されました。



「上靴何色だった？」中高同窓生で学年を知りたいとき尋ねます。まるで合言葉のようです。



大学・短大卒業式
大学院修了式
3月11・12日

巣立ってもひとりじゃありません。
私たちには帰ってくる場所があります。



同窓会入会式

コロナ禍に振り回された一年でしたが、無事同窓会正会員の入会式が行われました。飛田会長から心温まるお祝いのメッセージと記念品が贈呈されました。私達はこれまでに経験のない大変な時代を生きています。卒業生はこれから沢山の課題と向き合い、新たな時代を切り開いて行くこととなりますが、ぶどうの枝として繋がる同窓会は卒業生にとって心の故郷です。いつでも故郷を思い出し、福岡女学院での縁を大切に、さらに学年を超えた絆を作って行きましょう。

表紙写真について

表紙写真は、学院創立120周年記念事業の一環として、第12代院長・第8代同窓会会長 柿菌 ヤエ(1898-1988)が遺した基金によって2007年にギール記念講堂に設置された「柿菌記念パイプオルガン」です。

会長挨拶



同窓会会長
飛田 恵子
(1967(S42)年高卒)

2022年の新年を迎えたと思っておりましたが、もう2021年度末が近くなって参りました。
コロナの感染状況に翻弄されたこの2年間、同窓生やその関係者に、罹患された方もいらっしゃる事とお見舞い申し上げます。また、多くの同窓生の医療関係の方々が、懸命の治療や感染を防ぐ努力をしていらっしゃる事を覚え、お礼を申し上げます。ありがとうございます。

さて、私の会長としての在任期間も後僅かになって参りました。4年間に亘りまして多くの方々で大変お世話になりました事を感謝申し上げます。この間、やり切れていない事は山ほどありますが、来年度以降の若い役員の方々をお願い致します。
今、同窓会百年史を紐解きますと時代の変化と共に、学院も短大・大学・大学院・看護大学と発展をし、卒業生も

5万を数える程になって活動している事がわかります。
同窓会百年史の編集委員長をされていた栗山元同窓会長は、その冊子の中で『同窓会の将来として、在校生と特にその生徒会・学友会と連携して』と同窓会としての進むべき道を語っておられます。その後、百年史から5年が経ちましたが、少しでもそこに近づけたかしらと願いながら目を通しておりました。
また、私の会長就任の時に背中を押してくださった今は亡き徳永先生も、『同窓会の将来構想として、キャンパスは古賀にあります。看護大学同窓会も含めた、学校毎の組織作りを願って』と話していらつしたのを、懐かしく思い出します。
今後、在校生と協力しながら、同窓会全体が仲良く強固な集まりになっていきます様に、お祈りいたします。
同窓生の皆様の、同窓会に対する益々のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

CONTENTS

同窓会会長挨拶.....	1	支部だより.....	9~10
2021年 巣立ちの春.....	2	Mission Family.....	11~12
2021年度総会書面審議報告 / 2022年度総会案内.....	3	同窓会から緊急支援金贈呈.....	13
同窓会サポーター募集.....	3	短大・大学部会 / 看護大学部会.....	14
会計報告.....	4	音楽科卒業生会 / 活動報告 / 役員紹介.....	15
理事長・看護大学学長挨拶.....	5	Facebookはじめました!.....	15
院長挨拶.....	5	逝去.....	16
大学・短期大学部学長挨拶.....	6	福岡女学院オリジナル FEILERハンカチ販売のお知らせ.....	16
中学校・高等学校校長挨拶.....	6	福岡女学院同窓会会則.....	17~18
「福岡女学院135年史」同窓会ページより.....	7~8	イベント案内・編集後記.....	19

ご住所のお届けについて

卒業後の住所のデータ管理は同窓会事務局にて行っております。同窓会へのお届けの住所・氏名等に変更がある場合には必ずご連絡ください。住所変更はホームページからも可能です。



同窓会事務局 TEL&FAX:092-575-2479

ホームページ <https://www1.fukujo.ac.jp/alumnae/> E-mail alumnae@fukujo.ac.jp

会計報告

■ 資産の部		■ 会費会計／収入の部		■ 会費会計／支出の部	
現金	11,136 円	収入	入会金 2,757,000 円	支出	運営会計へ 18,057,271 円
普通	249,195,709 円		会費 23,110,000 円		
郵便局	1,404,947 円				
	250,611,792 円		25,867,000 円		

2020年度運営会計決算

2020年度予算		2020年度決算		差 異		備 考	
会費会計より	18,057,271	18,057,271	0				
受取利息	1,000	599	△ 401	預金受取利息			
総会会費	0	0	0	総会チケット代			
グッズ売上	0	0	0				
寄付金	10,000	99,360	89,360				
収入合計	18,068,271	18,157,230	88,959				
前期より繰越	3,264,729	3,264,729	0				
合計	21,333,000	21,421,959	88,959				

2021年度運営会計予算

2020年度予算		2021年度予算		備 考	
会費会計より	18,057,271	14,510,957			
受取利息	599	1,000	預金利息		
総会会費	0	0	総会チケット代		
グッズ売上	0	0			
寄付金収入	99,360	10,000			
前期より繰越	3,264,729	7,602,043			
合計	21,421,959	22,124,000			

2020年度予算		2020年度決算		差 異		備 考	
総務部費	520,000	609,443	△ 89,443	総会費用(会場費・プログラム・チケット等)			
会員部費	1,253,000	845,342	407,658	卒業55年・卒業50年同窓会支援費・クリスマスカード代・同窓会入会費			
活動推進部費	30,000	0	30,000	グレープガーデン開催費			
広報部費	5,700,000	5,626,256	73,744	穴ラフレッド広告料・ホームページ制作費			
役員活動費	1,780,000	1,163,270	616,730	役員活動費他			
支部関連費	2,020,000	490,279	1,529,721	支部活動補助費・支部長会開催費及び交通費			
支援金(学院・会員)	3,880,000	1,028,204	2,851,796	支援金(中級会・後援会・同窓会・同窓会・同窓会)			
事務局人件費	3,225,000	2,159,728	1,065,272	給与事務局2名分(交通費・労働保険料含む)			
コンピュータ関連費	550,000	277,326	272,674	税理士報酬・システム料・コピー料			
通信費	155,000	109,443	45,557	電話代・郵便代			
雑費	420,000	402,311	17,689	税理士報酬・振込手数料他			
消耗品費	170,000	84,383	85,617	事務用品費・コピー代他			
設備・営繕費	80,000	21,566	58,434	ピアノ調律代・中庭管理費			
慶弔費	50,000	2,365	47,635				
学院寄付金	1,000,000	1,000,000	0	看護大支援のための寄付として			
予備費	500,000	0	500,000				
合計	21,333,000	13,819,916	7,513,084				
次期繰越		7,602,043					
合計		21,421,959					

2020年度予算		2020年度決算		差 異		備 考	
コロナ対策支援金	0	10,000,000	△ 10,000,000	新型コロナウイルス感染症に伴う緊急支援事業のために			
熊本豪雨災害支援金	0	300,000	△ 300,000	令和2年7月豪雨支援金として			
合計		10,300,000	△ 10,300,000				

2021年4月24日 監査の結果、**坂元 恵子**、**真鍋 千恵** 相違のないことを認めます。

財務部より
同窓会会員の皆様からの貴重な会費を同窓会活動の運営と学院の発展のために、大切に使用していただいております。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

ラベルシールをご確認のうえ会費納入のご協力をお願いいたします。

同窓会会費は1口1,000円ですが、1,000円から何口分でもお支払いいただけます。満期は50口です。会報「ぶどう」の送付の際の宛名ラベルシールの左下に数字が記載されている場合は、会費の満期までの口数となります。何も記載されていない場合には完納されている方です。

郵便振込口座番号
01790-4-19034
福岡女学院同窓会

■ 満期までの口数(残)
2021年12月末現在
宛名ラベルシール
完納された方にはこの数字が入っていません。
(例)この場合は満期(額)に対して21口分(21,000円)残っています。
※1,000円から何口分でもお支払いいただけます。
ご不明な点は同窓会事務局までお尋ねください。
(TEL&FAX 092-575-2479)

〒811-1313
福岡県福岡市南区日佐3-42-1
福岡 花子 様
21 29990013
■ 会員No.

氏名の漢字表記について
氏名の表記でシステムの都合上、旧字体など表示できない場合がございます。その場合は**代替文字**で表記させていただきます。ご了承ください。

例: 吉➡吉 辻➡辻

2021年度福岡女学院同窓会総会書面審議結果

有価証券	承認中	承認済み	記入なし
1. 2020年度 活動報告	1934	82	8
2. 2020年度 役員報告	1987	91	18
3. 2020年度 監査報告	1921	96	13
4. 2021年度 役員報酬	994	111	14
5. 2021年度 活動費	1943	99	9
6. 2021年度 予算案	993	117	9
7-1. 監査結果 コロナ基金の件	982	116	28

同窓会総会審議の結果、上記内容に賛成の口数が過半数を超え、承認されました。

2021年 4月24日

坂元 恵子
真鍋 千恵



2021年度 総会書面審議 報告

2021年度同窓会総会は、ぶどう26号発行時には2021年5月16日(日)ソラリア西鉄ホテル福岡にて開催とのお知らせをお出ししました。

その後、コロナの感染状況等を鑑み役員会でも検討を重ねましたが、リモート総会開催に変更せざるを得ないとの結論に達し、準備を進めておりました。

しかし、開催直前には緊急事態宣言が発令される状況となりましたので、急遽オンライン上での書面審議とさせて頂きました。

度重なる急な変更により、同窓会総会の開催を楽しみにお待ちいただいていた同窓生の皆様には、大変なご心配とご不便をおかけ致しまして申し訳ございませんでした。お陰様で、オンライン上では千人を超える皆様にご参加いただきました。

心より、感謝、お礼申し上げます。

その結果すべての議案について過半数の賛成者を得ることができたため、上記の通り承認されたことをご報告いたします。

またよせられた貴重なご意見は、これからの同窓会活動に活かしていく所存でございます。

今後共、お心を寄せていただき、ご理解ご協力を賜りますようお願い致します。

今年こそ皆様にお会いできることを願い、楽しみにしております。

※審議事項の詳細はホームページの総会パンフレットにてご確認ください

創立137周年 2022年度 福岡女学院同窓会総会

場 所：福岡女学院ギール記念講堂
日 時：2022年5月22日(日) 14:00~15:30
会 費：無料(※事前申し込みにて入場券発行)
当番学年：H7年高卒・H9年短卒・H11年大卒

※ご希望の方には13時から学院キャンパスツアーを予定しております。
※新型コロナウイルス感染症の状況次第で、変更の可能性もあります。
ホームページ・SNSでお知らせしますのでご確認くださいませようお願い致します。

同窓会サポーター募集!

同窓会活動のお手伝いをしてくださる「サポーター」を募集しています。
女学校・中・高・短大・大学・大学院・看護大すべての卒業の方が対象です。
サポーターとしてご登録いただける方は、同窓会事務局までご連絡ください。
ご協力をよろしくお願いいたします。

福岡女学院 理事長
福岡女学院看護大学 学長
挨拶



学校法人 福岡女学院 理事長
福岡女学院看護大学 学長
片野 光男

2015年に福岡女学院看護大学学長として赴任、2021年に理事長に選任され、現在は兼任いたしております。

この2年は、全ての人々にとって辛い日々であり、まだまだ予断は許されませんが、学院は、2022年度より新たな中期計画(6年計画)に沿って、学生・教職員一丸となって歩んでまいります。

学院では、幼稚園児・中学生・高校生・短大生・大学生・大学院生、および幅広い年齢層の教職員がともに学校生活を送り、さらには、学外にはファミリーである保護者の方々や同窓生がおります。つまり総合学院である福岡女学院は、「過去と未来が共存する学園都市 ミッションタウン」なのです。福岡女学院の強みの一つは、この時を超える力を持つことです。

学校運営は少子化の波の影響を受けながら進まなければなりません。確かに、総合学院は個々の学校(小舟)の問題が加算された大波の中を進む覚悟が必要です。しかし、翻せば、小舟には困難な波も、個々の学校が手

を繋ぐことにより大船として乗り越えることも可能でしょう。

したがって、第二期中期計画では、総合学院としての意識の涵養と各学校の連携を可能にするシステム整備、つまり新たなブランド力の創生と、社会環境の変化に柔軟に対応可能な安全・安心な教育システムの整備を、計画の柱に立てることにしました。

最初の3年間で、看護大学が開発したICT看護教材である「ミッションタウン」のような、AIやICTを活用した「何時でもどこでも誰でも学べる、あらゆる災害に対応可能な教育システムの整備」「学校間の新たな連携教育の実現」「校舎の建て替えを含めた学院の柱として輝く中学・高校の更なる発展」を目指します。

私が職責を全うするための、強い背骨を作り上げる努力を怠らぬよう、お祈り頂ければ幸いです。皆様の上に、主のおおいなるお恵みがありますように。

福岡女学院大学
福岡女学院大学短期大学部
学長挨拶



福岡女学院大学
福岡女学院大学短期大学部
学長 伊藤 文一

すべては、学生のために

「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる」
マタイによる福音書7章7節

「未来は、先に結論を決めたものにひざまずく」という言葉があります。

「こんな大学・学院にしたい。」「このような幼児・生徒・学生を育てたい。」「これからも建学の精神やミッションをいつも大事にして学校経営をします。しかし、その基盤になるものは、やはり「信仰の力」です。信仰の力によって、未来を創造して参ります。

祈りと情熱でもって、神様に愛される大学(学院)を目指します。

(1)「対話」を重ねています

本学のビジョンは、「つながり」です。学生や地域の様々な方々との対話を心がけています。傾聴の心を大事にしています。これまで、内外合わせて800名以上の皆様と対話をしました。「口は二つ、耳は二つ」です。地域貢献を通して、地域との信頼関係を構築していきます。学院としては、幼稚園・中学校・高等学校・大学・短大との連携を強め、総合学園を目指します。

(2)「チャレンジ」を続けています

2020年度は、文部科学省の改革総合支援事業に対して、1,500万円を補助金として受領することができました。今年度もさらに、その事業を継続させるとともに、科学研究費、補助金申請等に積極的にチャレンジして教育研究機関を整備し、その成果を地域に還元していきたいと思っています。

また、2021年度も「学校・企業・自治体等」の訪問を積極的にしています。特に高等学校等は、20校程度、訪問させていただきました。

更に、月に二回発行の「学長室の窓」を通して、学内外の様子をお知らせしています。

(3)「未来に貢献する心」を学生と共に育てています

学生・教職員と共に、月一回、学校(学院)周辺の清掃活動をしています。時々、地域の方々も参加されています。AIにはできない仕事に就くためにも、この協働の精神の重要性を感じてほしいと思っています。

「すべては学生【幼児・児童・生徒】のために」をモットーにしています。教職員一体となって努力に努力を重ねます。これからも、ご指導、ご協力、ご支援をお願いいたします。

福岡女学院
院長挨拶



学校法人 福岡女学院
院長 阿久戸 光晴

福岡女学院同窓会のとこしえの発展を祈ります。私は、2018年4月より福岡女学院大学長に就任すべく東京から参りましたが、本学院の理事会決議により2021年4月より寺園喜基前院長の後を引継ぎました。私は院長として、本学院の建学の精神を称揚すべく、その精神を学生・生徒・園児ならびに教職員とともに学び、また彼らと礼拝充実を最優先課題としていく所存です。また時代の変化が急ですが、変わりゆく時代のニーズを見据えつつ、伝統ある建学の精神をその時代のニーズに適合させるべく追究していき、教育の刷新や適切な人材の発掘に注力して参ります。

福岡女学院同窓会は、現在、中学校・高等学校・看護大学・大学(人文学部・人間関係学部・国際キャリア学部・短期大学部)・大学院(比較文化専攻・臨床心理学専攻・発達教育学専攻)の卒業生・修了生総数はすでに約5万人という大組織です。私は、今から30年ほど前、アメリカ合衆国で国際学校の経営を聖書教育の傍ら担当していたのですが、同国で発展して

いた私学は例外なく同窓会がしっかりとサポートしていたことに気がきました。その意味でも同窓会と良く連携して参りたいと思います。何とぞよろしくお願い致します。

現在はコロナ禍で何かと大変な時ですが、苦しんでおられる方々を慮りつつも、新型コロナウイルスで主が私たちに問いかけておられることがあるはずです。その課題を探究しつつ、それを本学院の使命としていきたいと思っております。

最後に、私の座右の銘の一つであるアメリカ合衆国の神学者、ラインホルド・ニーバーの祈りを紹介します。

「主よ、変えることのできないものを受け入れていく心の平静さと、変えるべきものを変えていく勇氣と、それら両者を識別する叡智を与えたまえ。アーメン」

今後ともご理解とご支援のほど、よろしくお願い致します。

福岡女学院中学校
福岡女学院高等学校
校長挨拶



福岡女学院中学校
福岡女学院高等学校
校長 重枝 一郎

本年度より、第21代校長を拝命しました。重枝 一郎(しげえだ いちろう)といいますが、これから福岡女学院中高の校長として、同窓会のみならずの力も借りながら、生徒・教師共に誇りを持つ学校づくりをしていきます。

私は「変化から進化」を職員のパワーアップにしていきたいと考えています。

生徒にも先生方にも、まず自身の「あり方・生き方」を今一度考えてもらいたいと思っております。自分自身が「かっこいい」と感じる人になつてほしい。「かっこいい人」の定義は、「自分のことばかりでなく、まわりの人のことを考えられる人」「前例がなくとも「やったらいける」と考えられる人」です。集団には、「指示されたことしかやりたくない」「やっても無駄」「自分さえよければそれでいい」と考えている人もいます。そして、その感情は学校全体に伝染していきます。

この考え方の差はなぜ生まれるのかを考えたとき、私は、それは「やったらできた」という経験の量に比例すると思っております。よって、生徒の考えを引き出し、伝えさせ、まわりから良い反応を得るといって成功体験を積み、生徒自身が先の未来を強く生きていけるようにしていきたいと思っております。

聖書の中に、「鉄は鉄をとぐ。そのように人はその友の顔を」とぐ」という言葉があります。共に磨き合える人との付き合い方を意味する名言です。私も「人は人を磨かれる」と、これまで関わった生徒によく話していました。幼稚園・中高・短大・大学がある、この多様性のある女学院の中で、そのような風土が、より醸成されるようにして

いきたいと思っております。それが生徒の可能性を広げることにもつながるからです。

私自身のこれまでのキャリアを考えると、多くの特命(荒れた学校の立て直し、民間企業の活性化、市立高校の活性化、様々な学校・地域の困難な事案に対する指導・支援等、これまでおこなった職員研修は400校以上)が私自身のやる気の源であったように思います。私は、「誰かのために」という感覚が好きです。そして、同窓会をはじめとするステークホルダーと良好な関係を築き、そこにある伝統を継承しながら、新しい文化の創造を目指すことが好きです。本校を取り巻く人や環境、思想、価値観など、関わるすべてのものを大切に思うことから感動や希望、交流が生まれると考えています。この「リスベクトの精神」はすべての根幹をなす価値観と思っています。そのシンボルワードとして本校には「大切なひとり」という言葉があります。本校勤務においても、私のこれまでの多くの多様な経験が生きてくると考えています。

最後に、本校の学校ホームページに「校長メッセージ」があります。そこに私が本校の職員に発信している「研修だより」や学校だよりである「Sense of Mission」の朝の礼拝での校長講話を見られるようにしています。これからは、なにとぞ私たちの取組を支えていただけたら幸いです。ご協力をよろしくお願い致します。追伸 ちなみに私の教科は数学、部活動はサッカーでした。

第6節 同窓会

はじめに

福岡女学院同窓会は、毎年約900名の卒業生を迎え入れ、会員数（正会員）49,763名（2021年3月31日現在）、全国10カ所に支部を持つ大きな組織となった。2016（平28）年から2021（令3）年は、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の発達に伴い、同窓会組織の活動が大きく変化した5年間であった。

2020年度は、同窓会ホームページのコンテンツを拡充し、11月にFacebook、2月にInstagramの公式アカウントをそれぞれ開設した。現在、各支部と連携し、オンラインでの積極的な情報発信を行っている。さらに2020年に開設された短大・大学部会では、WEB上で会員管理を開始し、国内外の同窓生に向けて動画配信なども行っている。

2018年5月の同窓会総会にて、飛田恵子（昭42年高卒）が新会長に就任した。学院の発展と共に拡大していく同窓会組織をどのように運営していけば活動の活性化につなげることができるのか、度々検討を重ね、会則検討班や資産検討班を設置した。さらに2020年6月1日の総会書面審議にて、同窓会会則を一部改正し、在学生と卒業生との絆をより一層深めるため、新たな「準会員」制度を発足させ、学院各校に在籍する学生・生徒を同窓会準会員とした。それに伴い、同窓会準会員用会報誌『ぶどうの小枝』（準会員記念号）を発行した。

2020年、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大に伴い、3月の卒業50年の祝会、5月の卒業25年の同窓会、ホームカミング&バザーなど、様々な行事が中止となった。また、5月の総会は書面審議に変更となり、秋開催の各支部総会も中止となった。同窓会役員会開催の方法も、対面からオンラインへ変更と



「ぶどうの小枝」(準会員記念号) 発行 (2021年4月1日)

なった。12月には、同窓会集会室からクリスマス礼拝をオンラインで配信し、国内外から同窓生が多数参加した。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う支援活動及び寄付・寄贈

2020（令2）年、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、同窓会から1000万円の緊急支援金を学院に贈呈した。同窓生からは、緊急支援事業寄付金として合計650件、総額1182万3943円が学院に寄せられた。（2021年3月末現在）これに伴い、2021年1月発行の同窓会会報誌『ぶどう』第26号に、緊急支援金に対する在学生からの感謝メッセージ特集を掲載、さらに最前線で働く看護大学同窓生へ向けての応援メッセージ特集を掲載した。また、2020年5月には、中国人元留学生で大学人文学部卒業の蘇蓓さん（平11年卒）、周行さん（平12年卒）、孫麗さん（平13年卒）から、マスク3,000枚が寄贈された。

2021年3月には、特別支援金として看護大学へ100万円の寄付金を贈呈し、キャンパス内のカフェテリアに飛沫防止パーテーションが設置された。



緊急支援金贈呈式 (2020年6月)



蘇蓓さん、周行さん、孫麗さんからマスク3,000枚の寄贈(2020年5月)



看護大学 カフェテリア飛沫防止パーテーション(2021年3月)

短大・大学部会の開設

2020（令2）年に短期大学部は開学56年、大学は開学30年を迎えた。2019年12月には、天神サテライトにて短大・大学部会発足記念交流会が開催され、総勢92名の短期大学部・大学の同窓生が出席した。同時に短大・大学部会サポーターの募集を開始した。2020年の同窓会総会において、支部と並ぶ同窓会組織として、短大・大学部会の設置が承認された。部会長に川波美子（昭57年高・昭59年短卒）が就任し、各種の企画を行い同窓生同士の交流を深めている。2021年2月には、短期大学部・大学の同窓生に向けたオンライン企画として「思い出の小郡キャンパス」[集まれ！板倉ゼミ！]などの動画を配信した。



短大・大学部会発足記念交流会 (2019年12月)



短大・大学部会 配信動画 (2021年2月)

その他の寄付・寄贈

学院には毎年、同窓生から様々な寄付が寄せられている。2016（平28）年4月に発生した熊本地震の際は、緊急支援金として、熊本地震募金66万9948円が寄せられた。

2018年には、同窓生による「お仕事会」閉会に伴い、お仕事会から学院へ、向山寮建設のための寄付金100万円が贈呈された。2016年4月には、今石悦子さん（昭20年専卒）から、スタインウェイグランド

ピアノが寄贈されお披露目会が行われた。2020（令2）年6月には、赤星信子さん（昭6年女卒・昭7年専卒）とご夫君の孝さんの絵画3作品が寄贈された。赤星さんは、90歳の時に、学院名誉院長徳永徹の著書『凜として花一輪』の表紙絵を描かれ、100歳まで生涯現役の画家として活躍された。2020年10月と2021年1月に、青山美津江さん（昭33年高卒）から、ベルナルド・ガントナー（Bernard Gantner 1928-2018）のリトグラフ（版画）計18作品が寄贈された。



今石悦子さんからスタインウェイグランドピアノの寄贈 (2016年4月)



赤星信子さん「炎火」(1975年制作)、他2作品の寄贈 (2020年6月)



青山美津江さんからリトグラフ（版画）18作品の寄贈 (2021年1月)

支部だより

北九州支部の齋藤です。

自己紹介

伝統ある北九州支部同窓会の存続のために畏れ多くも支部長に立候補した齋藤です。しかし、まことに申し訳ありませんが、コロナのため今のところ何の仕事もしていません。今後は私と娘、二代にわたりお世話になったこの福岡女学院のために支部長の仕事をがんばり、娘にもこの伝統を守ってってもらいたいと願っております。今年娘も浪人生活を経て、医学部に合格することができました。将来は夫の跡継ぎとして、産婦人科医として女性と赤ちゃんのために尽力していくと思っておりますが、その時の福岡女学院で学んだことが活かされると思います。今後とも未熟者ではありますが皆様のご指導いただきながら支部長としての役目を果たしていこうと思っております。



齋藤 まゆみさん・齋藤 萌さん(2019(H31)年高卒)

副支部長 本村 早織 (1990(H2)年高卒) 子育てにも一段落つき、この度、副支部長を仰せつかりました。コロナ禍でまだお仕事する機会がございませんが、今後、先輩方のご指導のもと、微力ながらお手伝いさせて頂ければと思います。 よろしくお願い致します。

北九州支部
(1572名)
齋藤 まゆみ
(1985(S60)年短卒)

支部名
(支部会員数)
支部長名(卒年)

長崎支部

(697名)
納所 季代子
(1986(S61)年高卒・1988(S63)年短卒)

昨年より長崎支部長をさせていただいております佐世保在住の納所季代子と申します。

中・高・短と8年間女学院にお世話になりました。卒業して35年たったことにあらためて驚きました！長崎支部は、副支部長の岩井のぶさんと連携をとりながら支部会を開催しています。また同窓生の方々も応援していただけるのでほんとうに心強いです。

支部会にはお子様も一緒に参加していただいております。コロナ禍で開催できていませんが、また開催できることを願っております。

今年も何も活動できないままでした。皆様のご健康を祈るばかりです。また、食事会でも出来たらと思っています。

鹿児島支部
支部長 新原 美栄子 1977(S52)年短卒
副支部長 菅原 愛子 1977(S52)年短卒

鹿児島支部
(418名)
新原 美栄子
(1977(S52)年短卒)

中部支部

(121名)
平田 輝子
(1976(S51)年音卒)

阿部高子さん(1964(S39)年高卒・1967(S42)年短卒)と、平田輝子(1976(S51)年音卒)とで、支部長・副支部長を交互に務めさせて頂きながらの十数年。愛知県岐阜三重富山在住の卒業生120余名が支部会員で、支部総会参加者は毎回15名程です。ここ数年、支部存続の危機を訴え続けていますが、状況改善への案も思いつかぬままです。続けるにしろ休止するにしろ、感染症禍でも支部総会開催が可能になりましたら、必ず会員の皆様へ報告させて頂く予定です。在校生の皆様へ…受験進学就職などで東海地方にいらっしゃる方、お困り事がございましたらご連絡下さい。

私は大牟田市に住んで46年になります。そこで、大牟田のことを少しのべたいと思います。

令和2年7月の豪雨による水害があり、そこから「災害時に支援する立場になれるよう」と、小・中学校や地域で、「考える防災訓練」に取り組んでいます。「広報おおむた」で、段ボールベッドの組立てや電気を使わないカレー作りなどを体験している様子を写真掲載しているのを拝見し、日々力をもらっています。自分でもできるボランティアはないか、など模索しています。まずは家族に美味しいご飯作りをすることが大切です。大牟田は、マイナスをプラスにして、子供達を導いている大人の姿が見える町です。住み易い町だと思いました。

筑後南支部
(620名)
安藤 恭子
(1973(S48)年高卒・1975(S50)年短卒)

インターネット上で世界中の人たちと交流できる時代に「同窓生の集い」の意義はどこにあるのでしょうか。それは、青春時代の経験を共有することで、お互いの存在が身近になり、家族や友人とはひと味違った存在として、分かり合えるからではないでしょうか。熊本支部は、歴代の支部長さん等の強力なサポートのお陰で成り立っております。それを繋げるべく、副支部長の合志知子さんと一緒に引き継がせていただいております。同じ学び舎で多感な時代を過ごした皆さまが、世代を超えて集い、新しい気づきや自分に出会い、心も体も元気になっていただけるお手伝いができれば幸いです。2021年は、熊本草葉町教会での特別礼拝を予定しておりましたが、残念ながら中止となりました。2022年は、安心して皆さまとお会いできることを祈るばかりです。

熊本支部
(658名)
三浦 美波里
(1988(S63)年高卒)

昭和45年音楽科卒業 支部長の小川真紀子と申します。現在関西在住の同窓生は約438名です。これまでも様々な方々をお招きし、盛り上がりのある支部総会を開催してきました。2021年度はコロナウイルスの感染拡大を受けて支部総会が中止となりました。またいつの日か開催される日を楽しみに、これからの益々の母校の発展と、同窓会会員の皆様のご健勝ご多幸をお祈り申し上げご挨拶とさせていただきます。

関西支部
(443名)
小川 真紀子
(1970(S45)年音卒)

昭和41年高校卒業の支部長の安浪です。大分支部は平成17年11月に発足した会員867名のまだ若い支部です。副の濱武さんと2人で年1回 総会と親睦会を開いて大分県在住の皆様と親交を深めて来ました。昨年と今年は新型コロナの為に休会となりましたが1日も早くコロナが終息し皆様と楽しい1日を過ごす事が出来る日が来るよう祈っております。

大分支部
(867名)
安浪 敬子
(1966(S41)年高卒)

懐かしい女学院の皆様、お元気で過ごしてですか。今年も皆様にお会いすることができず、とても残念に思います。来年こそはきっとお会いできると信じて祈っています。今回は、広島支部(鳥取県鳥取市内)で幼稚園の園長でいらっしゃいます伊達季代子さん(1969(S44)年高卒)を紹介させていただきます。福岡女学院幼稚園で5年勤務、主婦業23年、その後、鳥取市の愛真幼稚園の園長として22年勤務されております。季代子先生のお気持ちは「子ども達といっしょで、楽しい!!」につきるとおっしゃいました。「好き!」を仕事にされた季代子さんの、中学生、高校生の時の笑顔と今のお顔が重なります。これからもお元気で、子ども達といっしょに楽しくお過ごし下さいませ。広島市内の植物公園も赤く染まりはじまりました。

広島支部
(135名)
松田 恵美子
(1969(S44)年高卒)



伊達 季代子さん



関東支部は新しく有志サポーター制に変わりました。

大学時代から音楽関係の仕事であれよあれよと時間が過ぎ…45歳まで同窓会関東支部のことを全く何も知らなかった私が、当番学年で司会や三世代音楽会に携わったのが20年近く前の事…令和3年「レッドカーペット敷いておいたから…」と友人の口車に乗せられ「はい」と受諾してしまった(1976(S51)年音卒)サポーター長の諸江陽子ですが顔合わせで、頼もしい後輩サポーターの仲間と出会いゆっくりですが歩き出しました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

【副サポーター長】

1985(S60)年高卒・1987(S62)年短卒の大磯廣美です。卒業から35年が経ち、漸く生活にもゆとりの時間を持つ様になり、このタイミングで母校の同窓会に関わられて嬉しく思っております。

【副サポーター長】

田中久美子1983(S58)年短卒

【会計】

会計を担当しております中野加奈子1983(S58)年高卒でございます。今回サポーターとしてお役を引き受けたことで初めましての先輩や後輩の方々とお繋がる事が出来ました。

【支部紹介】

巣籠もり生活が続き、人との接触が少なくなって1年半～2年が経過した関東支部、鳥のように海や野山、大空を自由に羽ばたく活動が未だ出来ておりません。そんな中頂いた支部の皆様からの「総会/クリスマス会中止連絡への返信ハガキ」は身に余る光栄!先輩方の温かいお言葉を胸に若い方々の声をエネルギーとして応えて参りたいと存じます。

古今東西、時代の節目には災害や感染症が広がることを記

憶しています。コロナ禍では人間関係、価値観の多様化で孤独な時間から新しい事を見付ける方向へと変化して行き、居なくなる途えなくなる寂しさ悲しさ恐怖を如何に乗りきるか?未来に不安を感じてしまうこともあったかと思えます。オンライン授業やリモート等…が必要となり、アナログな私はデジタルを若者から学ぶ時間が増えました。

近い将来、パーティー会場に足を運べない方々との繋がりをも大切にしたい!

『初めましては、いつ始めても良いね』と是非勇気を出して、できればお子様やお孫様に習ってデジタル化するスピードに少しずつ挑戦してみてください。きっと何か光が見えて愉しくなります。出来る出来ないではなく遣るか遣らないか。世代を越えて寄り添い、新しい関東支部の未来に御理解ご協力戴きましたら幸いです。



関東支部
(1948名)
諸江(馬場) 陽子
(1976(S51)年音卒)

関東支部FacebookのQRコードです。



同窓生はどの支部の行事にも参加できます。詳しくは事務局に、お尋ね下さい。

(記事内容は2021年10月現在のものです。)



Mission Family

令和2年度 福岡市文化賞 音楽(邦楽)部門で受賞!!



渡辺 シズさん

同窓生の渡辺 シズさん(旧姓 日下部:1965(S40)年高卒)が令和2年度 福岡市文化賞を、音楽(邦楽)部門で受賞されました。渡辺さんは、国内外で箏や三絃の演奏会に多数出演。筑紫舞の調べ方を務めるなど、長年にわたり演奏活動を行い、福岡での箏曲の普及と後進の育成に貢献していらっしゃいます。今回、伝統的邦楽の質の高い優れた演奏が高く評価されました。茶の花が可憐な花を咲かせる11月、ご自宅を訪問、懐かしい女学院時代のお話を伺いました。

プロフィール

福岡女学院高等学校普通科を経て、東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。
4歳より生田流箏・三絃を習い始める。宮城喜代子氏ほか師事。
昭和48年、リサイタル開催を機に、福岡において演奏及び教授活動を開始。
釜山国立管弦楽団日韓親善演奏会や東アジア音楽祭に出演するなど、国際的な舞台でも活躍。平成19年から、NHK-FM「邦楽のひととき」に出演。
箏曲宮城会評議員、理事、箏曲宮城会九州支部長



当時は、まだ高校に音楽科がなかったのです。中3の時、次年度から音楽科が新設されるという話を聞き、「1年浪人して次年度新設の音楽科に行きたい」と先生に相談に行きました。でも、即、「それはだめです」といわれ普通科へ進学しました。



Q. 女学院に中学から入学されて、高校は普通科に進まれたのですか?

有難うございます。
私が4歳の頃、父が鍵盤をたたきながら「この音なあに?」と聞くと、音を聞いただけですぐに音名を正確に答えていたそうです。それを見て、「この子は音楽に対してセンスがありそうだから何か楽器を習わせるといいよ」という父の言葉がきっかけです。そのころ家にあった楽器といえば、母の嫁入り道具の箏、それで箏を習いはじめました。
小さい頃は、レッスンの後に先生から頂けるところ褒めが嬉しくて、それが実は母がこすり用意していたのだとも知らず、鉛ひもにつられて楽しみに喜んで通っていました。

Q. この度は、受賞おめでとございます。箏を始められたきっかけを教えてください。

過去の作曲家が作った素晴らしい作品を、私たちは楽譜から音にする再現者として、どんな音が求められているのかをすごく考えています。曲が作られた背景を調べたり、クラシック音楽の本場のヨーロッパの風土や文化を感じて、音楽があるべき姿を考えることを大切に演奏しています。音楽に命を吹き込んで、生命力が感じられる演奏が出来る様、いつも心掛けています。



Q. 将来のことを考え始められたのはいつ頃からですか?

高校1年の頃、色々進路を考え「私に何が出来るか、やはり音楽しかない、お箏で藝大に進みたい」と思い始めました。音楽教師だった竹原先生に相談に行ったら、声楽でもなく、ピアノでもなく、箏で藝大に行きたいという私の言葉に最初はビックリされたようです。でも、そのあと本当に好意的で、楽典・ソルフェージュ・聴音など特別授業をして応援していただきました。生徒の夢と一緒に向き合ってくれた、そんな先生方ばかりでした。

Q. 将来のことを考え始められたのはいつ頃からですか?

高校1年の頃、色々進路を考え「私に何が出来るか、やはり音楽しかない、お箏で藝大に進みたい」と思い始めました。音楽教師だった竹原先生に相談に行ったら、声楽でもなく、ピアノでもなく、箏で藝大に行きたいという私の言葉に最初はビックリされたようです。でも、そのあと本当に好意的で、楽典・ソルフェージュ・聴音など特別授業をして応援していただきました。生徒の夢と一緒に向き合ってくれた、そんな先生方ばかりでした。

先生方にもとても喜んでいただきました。大学の寮に入っても先輩たちと共通の話題で話が弾み、ミッシェンの繋がりの深さをこころも感じて嬉しかったです。

Q. 女学院生活の中で懐かしく思い出す出来事はありますか?

高校2年の創立記念日の日、メイクイーン行事を見ようと皆でわいわい押し合いながら教室のベランダから中庭を覗いていました。その時窓ガラスが割れ、手を怪我しました。病院の先生から「あと1ミリでも傷が深かったら指は一生動かなかった」と、聞きました。あの時、担任の川崎先生が病院に付き添って、診察の間中ずっと祈り続けてくださった姿は、今でも何かにつけていただいたあの姿は、今でも何かにつけて有難く嬉しく思い出します。

Q. 今後の夢や目標などがあれば教えてください。

作曲家の想いを伝えたいということに加えて、私たちにしか出来ない演奏を探していきたい、その演奏を世界中の方々に聴いて頂きたいなと思います。



箏の音色は凛として美しいと聞きますが、奏者である渡辺さんはまさに箏のイメージにぴったりの方でした。くわえて、優しくチャーミングなお人柄に魅せられた二日でした。今後のご活躍を心よりお祈りいたします。

第70回 ミュンヘン国際音楽コンクール ピアノデュオ部門で受賞!!



坂本 彩さん

坂本 リサさん

同窓生の坂本 彩さん(2011(H23)年音卒)が、妹のリサさんと共に国際コンクールで受賞されました。2021年9月、クラシック音楽界で最高峰と呼ばれるドイツ公共放送ARD主催「第70回ミュンヘン国際音楽コンクール」ピアノデュオ部門で、「Piano Duo Sakamoto」で活躍中の坂本彩さんとリサさんご姉妹が見事第3位に輝き、さらに観客の心を最も掴んだ出場者に贈られる「聴衆賞」のダブル受賞を果たしました。ピアノデュオ部門での入賞は日本人として初めてです。秋風が涼やかな10月、一時ご帰国中のご姉妹にお話を伺いました。

プロフィール

姉・彩6歳、妹・リサ4歳よりピアノデュオを始める。彩は、福岡女学院高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部を経て、東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程修了。リサは、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、東京藝術大学音楽学部を経て、東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程在籍中。姉妹ともに、ドイツ国立ロストック音楽・演劇大学大学院ピアノデュオ科修了。ドイツ・ホルストラーエ財団奨学生。ピアノデュオを、田中 美江、加藤 真一郎、伊藤 恵、Hans-Peter & Volker Stenzlの各氏に師事。第7回国際ピアノデュオコンペティション(ポランド)で第1位及びバダレフスキ賞受賞。第21回シュベルト国際ピアノデュオコンクール(チェコ)で第1位。第70回ARDミュンヘン国際音楽コンクール・ピアノデュオ部門で第3位及び聴衆賞受賞。

坂本彩 & リサオフィシャルサイト: Piano duo Sakamoto
<https://www.pianoduosakamoto.com/>

Instagram: Aya & Risa Sakamoto: pianoduosakamoto
<https://www.instagram.com/pianoduosakamoto/>



ミュンヘン国際音楽コンクール:授賞式(2021.9)

Q. この度のコンクール受賞までのプロセスを教えてください。

今回二回はビデオ審査でした。その後、ミュンヘンで二次予選・セミファイナル・ファイナルと5ステージ行われました。其々に課題曲が出されて、全部合わせると3時間半ぐらいのプログラムで大変でした。



ミュンヘン国際音楽コンクール:Final Stage(2021.9)

Q. 演奏する上で、一番大切にしていることは何ですか?

過去の作曲家が作った素晴らしい作品を、私たちは楽譜から音にする再現者として、どんな音が求められているのかをすごく考えています。曲が作られた背景を調べたり、クラシック音楽の本場のヨーロッパの風土や文化を感じて、音楽があるべき姿を考えることを大切に演奏しています。音楽に命を吹き込んで、生命力が感じられる演奏が出来る様、いつも心掛けています。



ドイツで恩師とラジオ収録時

Q. ドイツでの留学生活は如何ですか?

音楽の原点のクラシック音楽が生まれた場所なので、ただ歩いているだけでも音楽が聴こえてきて、留学前は実感がなかったのですが、ドイツ語を学んで楽譜を見ると音符と言葉がピッタリくるし、ドイツで暮らしてクラシック音楽がしっくり生活に溶け込んでいく感じがします。この留学生活が初めての姉妹二人暮らしで、一緒に料理もしています。姉妹仲良く頼り合って生活しています。



ドイツで恩師のHans-Peter & Volker Stenzl先生ご兄弟と

Q. ご姉妹でデュオ活動を続けてきた中で、一番の思い出は何ですか?

ドイツに留学しようとして、2018年にドイツ南部のオクセンハウゼンでピアノ・デュオの講習会を初めて受けた時、指導くださった先生から感じるものがとてもたくさんあり、この先生の下で是非学びたいと二人で強く思った瞬間が一番の思い出です。

Q. 後輩に伝えたいことがあれば教えてください。

私たちのこれまでの経験から、挑戦することはちょっと怖い気もしたけれど、がんばって挑戦してみようと思ったこと、がたくさんあります。「もしかしら失敗するかもしれない」と思うかもしれないけれど、挑戦しないと何も変わらぬので、勇気を持って行動し挑戦してみてください。



FFGホール(2021.8)

短大・大学部会

Alumnae, University and Junior College Subcommittee

感謝でいっぱい短大・大学部会

短大・大学部会 部会長 川波 美子 (1984(S59)年短卒)

短大・大学部会は、学生や教職員のみなさんとの連携を大切にしています。伊藤文一学長率いる「星のかけら拾い隊」では、同窓会と学生、教職員が月に一度学院周辺の清掃活動をし、また、留学生を励ます「ランチ会」を開催、互いに元気を交換する楽しい集いになりました。

動画も6作品が完成しました。懐かしい先生方にオンラインでいつでも会えます! 嬉しかったのは、現在小郡キャンパスをオフィスにしているI-PEX株式会社さんが、キャンパス内の「定礎」に福岡女学院大学の名前を刻んで下さったことです。学び舎が大切に受け継がれているのは、誇らしいことです。



留学生を励ます「ランチ会」を開催しました!



学長・学生・教職員と「夢のかけら」を拾います



小郡キャンパスに残された福岡女学院大学の定礎 I-PEX株式会社執行役員の齊藤さんと伊藤学長

短大・大学部会の会員管理アプリMii+ (ミーラス)にご登録を! / 部会だよりや最新動画の配信、イベントのお知らせなどたくさんの「ワクワク」をお届けします!



看護大学部会

Alumnae, Nursing University Subcommittee

看護大学部会 部会長 上野 都花 (2012(H24)年卒)

コロナウイルス感染拡大で私達の日常は大きく変わりました。特に医療の最前線で働く看護大学の卒業生達にとっては本当に大変な数年間でありました。病院に開設されたコロナ病棟に自ら志願し、不安の大きい患者さんやご家族に寄り添い、最前線で活躍する卒業生もいました。看護大学の学生達も同様に、非日常の中で多くの不安を抱えながら授業や実習や就職活動を行っている状況です。2021年12月5日にはZOOMにて看護大学

学友会主催の学生交流会が行われ、同窓会部会より卒業生2名が参加し、看護大学生24名と共に有意義で楽しい時間を過ごしました。九州大学病院 集中治療部 救命救急センター勤務の卒業生から大学生活や職場での仕事について話があり、その後質疑応答が行われました。時間が足りない程沢山の質問が寄せられ、卒業生から学生の皆さんに応援のエールを送ることが出来ました。

交流会に参加した看護大学生の声

先輩方のためになる話をたくさん聞くことが出来、非常に良かったです。今のうちからやっておかなければならないこと、実習中に行うことなど自分がやるべきことがたくさんあることが分かった。

質問しやすい雰囲気でした。救命に興味があったのでとてもいい機会になりました。

九州大学病院での仕事内容や面接内容、国家試験に向けてやっておいた方が良くと思うこと、今のうちに取り組んでおくことなど、大事なことを知ることができ、これからの取り組みに役立てられた。

今後の参考になるものが多く、貴重な意見を聞いて有意義な時間を過ごせました。

普通の説明会では聞きにくいようなお給料面での話など聞いて良かった。

実際に働いている先輩方のリアルな声を聞くことができた。



大学・短期大学部・大学院の学生へは、3千円分のQUOカードを贈呈しました。



看護大学の学生へは、3千円分の図書カードを贈呈しました。

同窓会から学院のすべての学生・生徒の皆さんに緊急支援を行いました!

2年に及ぶコロナ禍の困難な状況の中で様々な不安を抱えている準会員の皆さんに、昨年に続き同窓会から心を込めて緊急支援を行いました。今年度は、短大・大学部会と看護大学部会のご協力を頂き、左記の通り、在学生の皆さんのご希望に沿った支援内容を緊急決定致しました。この支援が準会員の皆さんの一助になりましたら幸いです。

中学校・高等学校の生徒へは、2022年3月を目途に贈呈するよう準備中です。(2021年12月現在)

ご支援ありがとうございます! 私も今後、同窓会の一員として後輩に支援できるように頑張ります。

学生からの感謝のメッセージ

(一部抜粋です)

コロナ禍で、あまり満喫することが出来なかった大学生活の最後にこのようなやさしさに感動しました!ありがとうございます。

留学に行けなくなったり、研修が全てオンラインになったりと、入学してからできないことが多くて苦しいですが、今できることを見つけてがんばって行こうと思います。ご支援ありがとうございます!QUOカード、大切にに使わせていただきます!!

QUOカードありがとうございました。コロナで2年間リモートでの授業となりましたが、福岡女学院の学生で良かったと心から思っています。社会人になっても胸を張って女学院卒として、精進したいと思います。

QUOカードで教探の教材買って合格します。先生になります!!

同窓会の皆様 QUOカードありがとうございました。コロナ禍で気持ちが沈むなか、元気ができるようにとお気遣い嬉しかったです。ありがとうございます♡

この大学院2年間、コロナ禍で大変だったのですが、応援してくださる方、支援してくださる方、様々な人たちに支えられた2年間でもありました。同窓会から、このような形でエールをいただき、これからの励みにもなりました。ありがとうございました。このような企画を行っていただきとてもありがたかったです。卒業後は、私も同窓会の会員としてかかわれるようにしたいです。

QUOカードありがとうございます。頂いたカードを使って、就活に役立つ本を買おうと思います。本当にありがとうございました!

ありがとうございました!! 大切に使います!! 色々がんばろうと思うことができました。受取る機会があつて良かったです!

大学生活でトップに入るくらい嬉しいです!!卒業前にステキなクリスマスプレゼントありがとうございました!!

今回のこのQUOカードの配布の機会でも、同窓会の「準会員」であるということを感じることができました。とても助かります!! ありがとうございます。

福岡女学院大学の同窓会の皆様へ QUOカードという素敵なエールをありがとうございます! なんだか窮屈な日々を送っていたので、とても救われました!少し落ち込んだところに元気をくださってありがとうございます! 大切に使用させていただきます!

なかなか同窓会の皆様に身近に感じることがなかったので、このような形で応援していただき、とても感謝しています。もうすぐ卒業ですが、私も一女学院生として誇りをもって、これからも生活していきます。

今回こうしてQUOカードを頂いたことは嬉しいのですが、それ以上に、このように支援してくださる方がいらっしゃる事がとても嬉しかったです。気持ちの面でもすごく励みになります。ありがとうございます。

大切に使用させていただきます!!同窓会の皆さまの優しさ、心にしみました~!

QUOカードありがとうございます! 思いがけないプレゼント企画、嬉しかったです!! 来年から私も同窓会の一員になるのでよろしくお祈りします!

このような企画を行ってくださり、ありがとうございました。私も卒業したら同窓会員として在学生の役に立てるような企画を行いたいと強く思いました。改めて、ありがとうございます!

同窓会は、正会員の卒業生と準会員の在学生の絆を深く繋いでいけるよう今後も活動致します。

逝去

つつしんで哀悼の意を表し、主による平安をお祈りいたします。

(敬称略)

2021.5.17 伝法 清子(井上)1936(S11)女	2019.12.19 田中 孝子(大賀)1957(S32)高
2020.4.23 松井 信子(白井)1936(S11)女	2020.10.6 日高 千鶴子(大和)1957(S32)高
2015.6.7 中野 トシエ(石橋)1938(S13)女	2021.4.11 宮崎 太美子(大塚)1957(S32)高
2020.10.14 大久保伊都子(谷)1939(S14)女・1940(S15)専	2020.6.9 於保 和子(立石)1957(S32)高・1959(S34)専
2020.2.16 七田 恵美子(合屋)1940(S15)女・1941(S16)専	2020.8 竹淵 龍桃(竹淵愛)1959(S34)高
2021.7.11 宅嶋 郁子(篠原)1941(S16)女	2020.11.24 柳瀬 素子(中畔)1962(S37)高
2021.10.3 三宅 富子(山丸)1942(S17)女	2020.12.4 徳永 孝子(笠)1964(S39)高
2020.3.31 安田 和子(河野)1943(S18)女	2021.6.25 小石原 良子(妹尾)1964(S39)高
2021.4.16 宮崎 富佐子(谷)1943(S18)女	2020.12.11 琴谷 律子(相良)1966(S41)高
2021.2.4 那須 和子(内海)1944(S19)女	2020.12.10 兎玉 信子(加来)1966(S41)音
2021.12.29 瓦田 明子(瓦田)1944(S19)女	2020.11.26 阪本 真弓(田島)1966(S41)高・1968(S43)短
2019.9 青野 貞子(後藤)1945(S20)女	2020.3.20 高田 知枝子(中島)1967(S42)高
2021.2.9 松岡 邦恵(佃)1945(S20)女	2020.3.16 深川 訓子(藤崎)1967(S42)短
2010.6.10 武谷 瞳(武谷)1948(S23)女	2021.5.19 大野 久美子(水上)1967(S42)短
2020.6.22 後藤 佐恵子(松井)1949(S24)高・1950(S25)専	2021.11.20 大城 康子(稲永)1968(S43)高
2021.5.1 岡林 亮子(境)1949(S24)女	2020.11.28 松雪 真知子(田淵)1968(S43)高・1970(S45)短
2021.7.16 小野山美智子(小野山)1950(S25)高	2021.9.11 浅野 純子(長谷川)1969(S44)高・1971(S46)短
2020.3.9 山下 喜美子(杉本)1951(S26)高	2020.8.15 水間 裕子(村上)1971(S46)高・1973(S48)短
2021.4.20 長野 圀子(棚橋)1951(S26)高	2021.11.10 船坂 由貴(船坂)1971(S46)高
2020.11.25 谷口 孝子(渡辺)1952(S27)高	2020.6.27 青山 加寿子(光野)1971(S46)短
2020.6.30 隈本 敬子(倉田)1952(S27)高	2019.9.13 辻田 慶子(辻田)1973(S48)高
2021.10.2 大村 綾子(林)1953(S28)高	2020.6.27 高木 仁美(鷲野)1973(S48)高
2021.8.1 薄井 美代(山田)1954(S29)高	2020.10.31 前川 みつ子(瀬頭)1974(S49)高
2020.10.24 清水 加奈子(寺崎)1954(S29)中	2019.10.5 吉田 史子(毛利)1975(S50)高・1977(S52)短
2021.5.20 荒牧 英子(高木)1955(S30)高	2021.6.1 山下 偕子(本田)1980(S55)高
2021.8.31 古賀 博子(乙藤)1956(S31)高	2020.9.5 森田 幸恵(森田)1986(S61)短

ご家族の了承を頂いた方のみ記載しております。

※()旧姓です。※卒年順です。
2021.12.31現在

福岡女学院
オリジナル

FEILERハンカチ販売のお知らせ

福岡女学院と「FEILER」のコラボで、
素敵なオリジナルハンカチが完成しました。
ご自身の記念に、ご家族やお友達のプレゼントに、
この機会に是非ご購入ください。

福岡女学院内売店でご購入いただけます。

インターネットからもご購入いただけます。
<https://www.salat.club/feiler/fukujo>



全2色(ブラック・ボルドー)
販売価格 1枚 2,970円(税込)

お問い合わせ

(株)ミッションサポート
営業時間 平日9:00~12:00/13:00~17:00

TEL:092-575-2551

Email info@missionsupport.co.jp

音楽科卒業生会

音楽科卒業生会 代表 田口 三冬 (1983(S58)年音卒)

2年ぶりの「卒業生演奏会」は、阿久戸院長のご臨席も賜わり暖かな拍手と笑顔に溢れるひと時となりました。ピアノ独奏やソプラノ、クラシックギター(客演)など様々な演目をお楽しみ頂いている客席のご様子、終演後の会場に満ちる和やかな空気に、神様に守られて開催が叶った事への感謝の思いが溢れて参りました。

長引くコロナ禍の影響は多方面に及び、言い知れぬ不安に苛まれる日々です。そんな今だからこそ、言葉を超越して人と繋がり、心を癒し、潤し、励ます…音楽にその力と役割が与えられているのだとすれば、私達の歩みは祈りと証しに似ています。

それが御心に叶う行いとして母校の発展に寄与できれば、これ以上の喜びはございません。



2021年7月22日 あいれふホールにて

活動報告

- 1 同窓会総会(書面審議)実施
- 2 役員会開催
- 3 支援金贈呈
(緊急支援金・在校生支援金)
- 4 会計処理(予算・決算・監査)
- 5 会員情報データ管理
- 6 会報「ぶどう」発行
- 7 ホームページ管理
- 8 同窓会開催支援
- 9 85歳以上の会員への
クリスマスカード発送
- 10 文化祭・講演会・学院行事への協力

役員紹介

会長

飛田 恵子 (1967(S42)年高卒)

副会長

桑原 洋子 (1969(S44)年高卒)

竹下由美子 (1972(S47)年短卒)

稲原しのぶ (1979(S54)年高卒)

財務部

牛島 惇子 (1966(S41)年音卒)

前田三枝子 (1966(S41)年高卒)

野田 幸子 (1979(S54)年高卒)

津留崎幸代 (1982(S57)年高卒)

総務部

岩瀬 由美 (1981(S56)年高卒)

藤木智恵子 (1991(H3)年高、1993(H5)年短卒)

古賀真理子 (1993(H5)年高卒)

城戸真由美 (2000(H12)年大卒)

会員部

見城真由美 (1974(S49)年高、1976(S51)年短卒)

富永 由美 (1990(H2)年短卒)

山路絵理子 (1995(H7)年短卒)

広報部

横田 純子 (1969(S44)年高卒)

廣瀬 知子 (1981(S56)年短卒)

上野 都花 (2012(H24)年高卒)

監査

青沼 佳子 (1967(S42)年高、1969(S44)年短卒)

真鍋 千恵 (1994(H6)年大卒)

事務局

福井 朗子 (1994(H6)年短卒)

城取 祐子 (1996(H8)年短卒)

Facebookはじめました

「福岡女学院同窓会」で検索して「いいね!」でフォローをお願いします
学院と連携しながら、同窓会・同窓生のイベントやお知らせを掲載していきます!



URL <https://www.facebook.com/fukuokajogakuindousukai/>

ユーザーネーム @fukuokajogakuindousukai



福岡女学院同窓会会則

第一章 総 則

(名称所在地)

- 第1条 1 本会は福岡女学院同窓会と称する。
2 本会は本部及び事務局を福岡女学院百周年記念館内(福岡県福岡市南区日佐3丁目42番1号)におく。

(目的と理念)

- 第2条 本会は福岡女学院建学の精神に基づき、会員相互の連絡・交流および親睦を図るとともに、福岡女学院と連携を図りながら、母校の発展に寄与することを目的とする。

- 第3条 本会は上記の目的の為に次の活動をおこなう。

- (1) 会員名簿の管理
- (2) 会報の発行
- (3) 支部・学校部会への支援
- (4) 同窓会事務局の管理・運営
- (5) 本会の目的と学院の発展に必要な事業

- 第4条 本会は福岡女学院同窓会の会則に定められた会員によって作られた同窓会組織体であり、母校の建学の精神に則り、全体的視点に立った活動に努めなければならない。活動は公平性と透明性を大切に自主性を尊重して努めるものとする。

第二章 会 員

(会員)

- 第5条 本会は次に定める会員をもって構成する。

- (1) 正会員 福岡女学院大学大学院
福岡女学院大学
福岡女学院看護大学
福岡女学院大学短期大学部
福岡女学院高等学校
福岡女学院中学校
及びこれ等の前身校のいずれかを卒業したもの。
本学院に原則として各学校の修業年限の1/2以上在学したもので、入会を希望し、会費を納めたもの。
- (2) 準会員 本学院各校に在籍する生徒・学生は、準会員とする。

(顧問)

- 第6条 本会は次の顧問をおく。

- (1) 理事長
- (2) 院長
- (3) 学長、校長
- (4) 役員会が推薦したもの

(入会金・会費)

- 第7条 1 正会員・準会員は、入会の際、入会金を納めなければならない。
2 正会員は、規定の年会費を納めなければならない。
3 入会金及び年会費、徴収方法等は別に定める。

(退会)

- 第8条 1 正会員は次のいずれかに該当するとき、本会を退会するものとする。
(1) 死亡したとき。
(2) 本人が希望し、本会が定める様式により同窓会宛に申し出をしたとき。
2 退会の際は、それまでに納めた入会金、会費は返却しないものとする。

第三章 役員及び役員会

(役員)

- 第9条 本会は次の役員をおき、役員会を構成する。
(1) 会長1名
(2) 副会長4名以内
(3) 幹事30名以内

(会長)

- 第10条 会長は本会を代表し、会務を行う。

(副会長)

- 第11条 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはこれを代行する。
副会長が複数の時は、代行順位を定めるものとする。

(幹事)

- 第12条 幹事は第14条に定める会務の任にあたる。

(役員会)

- 第13条 1 役員会は必要に応じて会長がこれを招集し、議長は会長が指名する。
2 役員会は過半数の出席をもって成立する。
3 学院との連携を図るため、役員会に学院広報・校友課職員を陪席させることができる。
4 事務局員を陪席させることができる。

(役員会務)

- 第14条 1 本会の役員は、会務の企画・立案及びこれの実行にあたる。
2 次の各部を設け、各役員が夫々担当する。
(1) 総務部(書記を含む)
(2) 会員部
(3) 広報部
(4) 財務部
3 役員会は必要に応じて、その他の部を設け、或いは廃止する事が出来る。
4 各部の役務は別に定める。
5 役員会は学院からの要請に応じて、学院の委員会に役員を出席させる。

(任期)

- 第15条 1 役員の任期については次に定める。
(1) 会長1期(2年)再任は連続2期(4年)
(2) 副会長1期(2年)再任は連続3期(6年)
(3) 幹事1期(2年)再任は連続3期(6年)
2 役員の辞任、又は執務不能の場合には、選考委員会が後任者を選考し役員会で承認する。但し、選考された後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

第四章 支部・学校部会

(支部)

- 第16条 1 現在ある支部以外で支部を設立する場合は、その地域の正会員の20%以上の申し出を必要とし、その申請書面を役員会に提出し、承認を得なければならない。
2 支部は、役員、休会等変更事項が生じた場合は、書面ですみやかに役員会に届け出る。
3 支部の閉会においては、支部会員全員に閉会を周知徹底し、書面で会計報告をした上で、役員会に閉会届けを提出し、承認を得なければならない。
4 支部は支部長1名、役員若干名を置き、支部会員相互の親睦を図るとともに、本会との連絡にあたる。
5 全支部は、その間の連絡や相互の情報交換本会との連絡の為に支部長を設け、代表者1名を置く。

(学校部会)

- 第17条 1 本会は以下の学校別の学校部会をおく。
(1) 高等学校部会(音楽科部会を含む)
(2) 短大・大学部会
(3) 看護大学部会
2 各学校部会は学校部会長1名、役員若干名をおく。又、各学校部会には連絡部員をおき、会員相互の親睦と情報交換、また本会との連絡にあたる。

第五章 総 会

(招集)

- 第18条 1 定期総会は会長が招集し、原則として、毎年1回開かなければならない。
2 臨時総会は、役員会が必要と認めるとき、会長がこれを招集することができる。

(決議)

- 第19条 1 総会の決議は出席会員の過半数をもって決する。
2 賛否同数の場合は議長が決する。

(決定事項)

- 第20条 総会は次の事項を審議決定する。
(1) 役員・会計監査人の承認
(2) 会務の報告
(3) 会計報告
(4) 活動方針(案)の承認
(5) 予算(案)の承認
(6) 会則の改廃
(7) その他本会に関する重要事項

第六章 検 討 班

(検討班)

- 第21条 本会は役員会内に次の検討班を設置することができる。検討班は、会長の諮問事項を検討の上、役員会に提案する。
(1) 資産検討班
(2) 会則検討班
(3) 役員会は特別の事項を検討する必要がある場合は、上記以外の検討班を設ける。

第七章 選考委員会

(選考委員会)

- 第22条 本会は役員会とは別に、役員・会計監査人の推薦が必要となるために選考委員会を設ける。
1 選考委員会は次の学校部会(各1名以上)・支部長(1名)・役員会(2名)を会員の中から選出し、8名を超えないものとする。
2 会長は本会の正会員の中から、選任する。福音主義のキリスト教に属する教員である事が望ましい。
3 会長、副会長は、役員会の推薦により、正会員のなかから、選考委員会が選出し、役員会で決定し、総会で承認する。
4 幹事、会計監査人は、会員の推薦により、正会員のなかから選考委員会が選出し、役員会で決定し、総会で承認する。
5 会長・副会長・幹事・会計監査人は学校部会・支部の各会員数と卒業年度等を考慮して広く選考する。
6 会員が幹事・会計監査人を推薦する場合、選考委員会宛に、書面推薦状を提出する。
7 選考委員は候補者になることができない。
8 選考委員会で選出した会長・副会長・幹事・会計監査人の候補者を、役員会で決定し総会で承認する。
9 選考委員会は、細則を別に定める。

(学院評議員)

- 第23条 1 本学院より学院評議員候補者の推薦の要請があった場合、本会は選考委員会にその候補者の選出を要請する。
2 選考委員会は正会員の中から候補者を選出し、役員会に報告し、学院長に推薦する。

第八章 学年委員

(学年委員)

- 第24条 1 会員相互の円滑な連絡を図るために、卒業年次ごとに学年委員をおく。
2 学年委員の任期は2年とする。ただし再任は妨げない。
3 学年委員に変更があった場合、新・旧委員を速やかに本会に届出をする。

第九章 会 計

(年度)

- 第25条 本会の会計年度は、原則として毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

- 第26条 本会の会計の収支決算および予算案は、毎年4月中に財務部が作成し、役員会に提案・討議の上、役員会で決定し、総会の承認を得る。

(会計監査)

- 第27条 1 本会は役員とは別に会計監査人2名以上をおく。
2 会計監査人は各年度の会計を監査し、総会で報告する。
3 会計監査報告書の作成をする。
4 会計監査人の任期は2年とする。

第十章 同窓会職員

(同窓会職員)

- 第28条 1 本会に専任の職員及び臨時雇用職員をおく。専任及び臨時雇用職員は、本会の一般事務、金銭の出納、同窓会事務局及び付随する施設の管理業務を行うこととする。
2 本会の専任及び臨時職員の任免、給与その他の待遇については、会長・副会長が検討の上、役員会に提案し、承認を得る。

付 則

- 1 本会則実施に必要な細則は、すべて役員会においてこれを定めることができる。
2 専任職員及び臨時雇用職員の待遇については、就業規則、給与規則を別に定める。
3 付則の年次を整えるために西暦、和暦併記とする。
4 本会則は、2020(令和2)年5月17日より施行する。

- 1952(昭和27)年 6月15日制定
- 1966(昭和41)年 4月 1日一部改正
- 1970(昭和45)年 5月16日一部改正
- 1979(昭和54)年 7月21日一部改正
- 1993(平成 5)年 5月17日一部改正
- 1995(平成 7)年 5月17日一部改正
- 1996(平成 8)年 5月17日一部改正
- 2002(平成14)年 5月17日一部改正
- 2004(平成16)年 5月17日一部改正
- 2011(平成23)年 5月17日一部改正
- 2013(平成25)年 5月17日一部改正
- 2014(平成26)年 5月16日一部改正
- 2015(平成27)年 5月15日一部改正
- 2016(平成28)年 5月17日一部改正
- 2019(令和 元)年 5月19日一部改正
- 2020(令和 2)年 5月17日一部改正



予定している全ての行事につきまして、変更の可能性があります。

教養講座 **グレープ・ガーデン**

「アクティブカラー 色で知る自分の心」
講演及びワークショップ

予告
第27回

講師 **吉原 峰子**さん(1964(S39)年高卒)
日時 **2022年11月**予定
会場 **福岡女学院同窓会集会室** 参加費 **実費**



お問い合わせ 詳細は、随時HP・SNS等でお知らせいたします。
ご連絡は福岡女学院同窓会事務局まで
TEL(092)575-2479

卒業25年同窓会のご案内

創立記念日に高校卒業25年の同窓会開催の支援をしています。今年では平成7・8・9年高卒の方々です。当日、お子様同伴も大歓迎です。お誘い合わせのうえ、お越しください。

日時 **2022年5月21日(土)**
* 詳細につきましては、別途ご案内いたします。

福岡女学院 創立137周年 **同窓会**
ホームカミング&バザー
2022年5月21日(土) 10:00-15:00

懐かしい先生方やお友達と
楽しいティータイムを過ごしませんか？

メイポールダンス終了後、同窓会集会室にてお茶とお菓子を準備してお待ちしています。
同窓生による手作りのバザーやミッショングッズも販売致します。

編集後記

ぶどうの一粒

「ぶどう」の編集に携わり、あっという間の1年間でした。昨年度に引き続き、コロナウイルス感染症の流行により、内容が大幅に変更となりました。不慣れな編集作業の中、様々な苦勞もありましたが、同窓生の皆様により良い会報をお届けしたい一心で、広報部が一丸となることが出来ました。創立以来137年間受け継がれている福岡女学院の良き精神を、会報「ぶどう」を通じて次世代に継承していただければ幸いです。ご協力頂きました皆様に心より感謝申し上げます。

懐かしい学び舎に思いを馳せる良い機会となります様に、願いを込めて「ぶどう27号」沈丁花の香りとともにお届け致します。

横田純子 廣瀬知子 上野都花

皆さまの声をお聞かせください。ご意見・ご感想をお待ちしています。



福岡女学院創立137周年記念
クリスマスコンサート

2022.12.23(金)

開演時間(未定)

会場 **福岡女学院ギール記念講堂**

新型コロナウイルスの感染状況により、急遽中止となる場合がございます。開催の詳細につきましては、10月頃、福岡女学院ホームページに掲載しますので、ご確認ください。

URL <https://www1.fukujo.ac.jp>

●福岡女学院同窓会会報「ぶどう」第27号 2022

福岡女学院同窓会

〒811-1313 福岡県福岡市南区日佐 3-42-1
TEL・FAX (092)575-2479

【URL】 <https://www1.fukujo.ac.jp/alumnae/>
【E-mail】 alumnae@fukujo.ac.jp



福岡女学院 同窓会

検索

■個人情報取扱いについて

2005年4月より、個人情報保護法が制定されました。個人情報を取り扱う同窓会事務局としましても、慎重に皆様の会員データを管理しております。懐かしいお友達へのご連絡など、事務局へ沢山のお問い合わせがございますが、必ずご本人様への確認をさせていただいた上でお答えしております。同窓会会員には同姓同名の方が多くいらっしゃいます。データ管理の間違いを防ぐために生年月日のご確認をさせていただきます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

住所・氏名変更、同窓会会費その他お問い合わせ、ご連絡は同窓会事務局へ（受付時間：月～金 午前10:00～12:00／午後13:00～16:00）